

北海道水産業の緊急対策(概要①)[生産の早期回復に向けた対策]

現状と課題

北海道水産業・漁村振興推進計画策定時の想定を超えた生産低迷

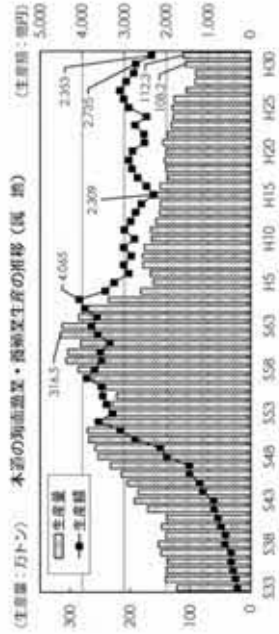
(現状)

■本道の主要魚種である秋サケ、ホタテ、コンブの生産

- ・本道の漁業生産量は、近年130万トン前後で推移
- ・秋サケやコンブなどの主要魚種が低迷
- ・さらにホタテの低気圧被害や大量へい死も発生
- ・平成28年には100万トンを下回るなど現在の統計となった昭和33年以降最低水準に低迷

■その他

- ・近年減少傾向にあるイカ・サンマは令和元年はいずれも昭和33年以降最低の水準
- ・イワシの生産量は令和元年は20万トン超えの急成長



(課題)

- 秋サケ
 - 汽水湖の利用拡大や稚魚の遊泳力の強化などの対策が必要
- ホタテ
 - 地蒔きホタテは被害の少ない沖合域の活用を進めることが必要
 - ホタテ養殖において、へい死要因の究明と生産率の向上が必要
- コンブ
 - 陸上作業の分業化など、生産体制の効率化を図ることが必要
- その他
 - 主要魚種の生産が大幅に減少しているため、安定した生産が期待できる新たな増養殖の取組を進めることが必要
 - 栽培センターの安定的な事業運営に向けた見直しが必要
 - 回遊魚の生産が低迷しているため、国際的な資源管理や取締強化のほか、新たな漁業生産の取組を進めることが必要
 - 資源が増加しているイワシ等を有効に活用することが必要

取組の加速化

漁業生産の早期回復等

観点

回遊魚に依存しない新たな増養殖への挑戦と栽培対象種の生産回復

道産水産物の消費拡大

対

応

内容

1 新たな増養殖への挑戦

- サケ・マス等魚類養殖の検討 【全道】
- ・本道発の養殖サケ・マス生産に向けた魚類養殖の検討 【全道】
- ムールガイ等海域特性に応じた新たな増養殖の推進 【全道】
- ・海域の特性に応じた養殖の拡大
- 海洋環境の変化に対応した増養殖の検討 【全道】
- ・環境に適応したコンブの養殖技術や成長に優れたサクラマスの育種などの推進

2 栽培対象種の生産回復と漁業経営の改善

- ①秋サケ 【全道】
 - 急激な資源減少に対応した緊急的な回復対策
 - ・DHA含有餌料を用いた稚魚の遊泳力強化など稚魚の生残り強化技術の開発
 - ・親魚や良質卵の安定確保対策
 - 変化に対応した定置漁業経営への構造改革
 - ・定置漁業の協業化や再編による経営強化
 - ・経営の合理化等による経営改善
- ②ホタテ 【道東】 【オホーツク海】
 - 噴火湾養殖ホタテのへい死対策
 - ・へい死要因の究明と現状にあった養殖手法の検討
 - オホーツク海地蒔きホタテの災害に強い漁場拡大
 - ・魚礁移設によるホタテ漁場の整備
- ③コンブ 【全道】
 - 陸上生産体制の構造改革等
 - ・漁場の効果的管理・造成
 - ・生産分業化モデル「コンブ共同乾燥施設」による生産体制効率化の推進
- ④その他(栽培魚種)
 - 計画的な栽培漁業の推進
 - ・栽培漁業基本計画に基づく事業の着実な推進
 - ・北海道栽培漁業センターの活用強化に向けた運営改善

3 豊かな資源の更なる有効活用

- ①イワシ 【道東】
 - 生産増大対策
 - ・沿岸漁業者による資源利用の拡大
 - 魚価向上対策と世界への展開
 - ・国内外への販路拡大、道内食用向け消費増大と付加価値向上
- ②ブリ、サバ等 【全道】
 - ブリ、サバ等新たな資源の活用
 - ・漁獲が減少したイカ等加工原料の代替など活用の拡大